

厚生労働省
推薦

文部科学省選定
(青年・成人・家庭向き)

咲心

emu

主演：藤田菜々子

島かおり 赤塚真人 宮下順子 田中康寛 高島良宏
鈴まみ 山中速媛 伊是名夏子 佐藤蛾次郎 丘みつ子

脚本・翻訳 監督：早瀬憲太郎 製作：一般財団法人全日本ろうあ連盟

製作総指揮：石野高志三郎 プロデューサー：久松三三 新井英夫

音楽：小林洋平 撮影：猪本雅三(JSC) 照明：奥村 誠 録音：郡 弘道 美術：津留啓亮 装飾：平川泰光

編集：山崎 行 スクリプター：吉田久美子 ラインプロデューサー：武田千明 制作担当：富田政男

衣装：宮本結江 ヘアメイク：オオカキエミロ スチール：田中敦美 制作プロダクション：株式会社ターゲット

エンディング曲歌：夏川りみ 題字：金澤翔子

あなたの瞳、きらきらしとる！



後援 手話を広める知事の会／
全国手話言語市区長会
助成 公益社団法人企業メセナ協議会
2021芸術・文化による社会創造ファンド

全日本
ろうあ連盟
創立70周年
記念映画

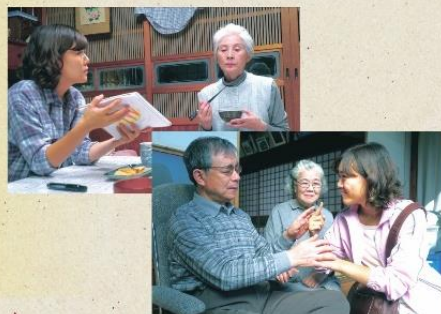
咲む

題字：金澤翔子

物事を始める
チャンスは
私は逃さない

Story [ストーリー]

看護師国家試験に合格したろうの女性の瑞月(みづき)は、就職活動で苦戦。そんな折、ある村の診療所で雇われる話が舞い込み、意気揚々と村にやってきた瑞月。しかし、採用を見送られることになり、落ち込む瑞月に役場から思わぬ仕事の紹介が…。村に住みながら懸命に取り組む瑞月だったが、様々な壁が瑞月を阻んでいく。相手を想っての行動が思わぬすれ違いを生み、そのわだかまりを解くこともできずに苦しんでいる大人たち。瑞月の起こす行動は、そんな大人たちを少しずつ変えていく。そして、村も大きく変わっていく…。



Commentary [コメンタリー]

全日本ろうあ連盟、初の製作映画「ゆずり葉」(2009年)は、上映会場750か所、上映回数1250回、動員40万人を突破し、各界から大きな反響を得た。前作から十年余り、国連障害者権利条約の批准を契機にろう者の言葉である「手話言語」が認知され、各地で手話言語条例が広がり、教育、司法、医療など、各分野で活躍するろう者も増え、ろう者や手話言語について社会の理解が進んでいる。しかし、「きこえない、きこえにくい」ということによる社会の障壁、差別、偏見はなくなったわけではなく、目まぐるしく変わる社会情勢による新たな問題も生まれ、課題は多く残っている。2017年に創立70周年を迎えた連盟は、きこえに関係なく様々な人々が共生していく社会を目指し、再び映画製作に挑戦した。映画「咲む(えむ)」は、一人の若きろうの女性を通して、喜びや葛藤の中で生き、

様々な障壁を乗り越えていく姿から、「ろう者」とは「きこえない」とは何かということ、そして、「手話言語」は魅力的で素晴らしい言葉であること、ろう者独自の文化を市民に広く伝え、ろうの子どもたち、また若いろう者、家族等に幅広く夢を与えていくことをコンセプトに製作した。脚本・監督は「ゆずり葉」に続き早瀬憲太郎。これまでの経験を活かし、きこえる俳優・スタッフと見事に連携し、新たなエンターテインメントを創りあげた。主人公の瑞月役を、NHK「中学生日記」に出演した藤田菜々子(ろう者)が熱演。彼女を見守る家族に高島良宏、鈴まみのろう俳優。村で瑞月を迎えるのは、島かおり、丘みつ子、佐藤竜次郎など素晴らしい俳優陣。盲ろう者やほかの障害のある人たちも出演する映画「咲む」は、観る人すべての人を笑顔にする。



藤田 菜々子 島 かおり 赤塚 真人 宮下 順子 田中 康寛 高島 良宏 鈴 まみ 山中 蓮媛 伊是名 夏子 佐藤 蛾次郎 丘 みつ子

脚本・翻訳・監督：早瀬憲太郎 製作総指揮：石野富志三郎 プロデューサー：久松三二 新井英夫 音楽：小林洋平 撮影：猪本雅三(J.S.C) 照明：奥村誠 録音：郡弘道 美術：津留啓亮
装飾：平川泰光 編集：山崎祥 スクリプター：吉田久美子 ラインプロデューサー：武田千明 制作担当：富田政男 衣装：宮本まき江 ヘアメイク：オオクボエミコ
制作プロダクション：株式会社ターゲット アドバイザー：山本おさむ 中橋真紀人 手話言語監修：高塚聡 木村晴美 【2020年/115分/日本手話言語 日本語字幕/音声ガイド(UDcast対応)】



映画に関するお問い合わせ ▶▶▶ 一般財団法人全日本ろうあ連盟

〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階 E-mail: movie@jfd.or.jp
TEL:03-3268-8847 FAX:03-3267-3445 URL: https://www.emu-movie.jp

UDcast対応

